

公民館だより なかがわ

第482号

令和5年1月6日

発行 中川地区公民館

TEL.Fax : 679-2501

～新年のご挨拶～

明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年も、続くコロナウイルスの影響で、様々な制限を余儀なくされましたが、皆様のご理解とご協力で多くの事業を開催できたこと心より感謝申し上げます。

令和5年も感染防止に努めながら、多くの方より公民館に足を運んでいただけるよう、公民館役職員一同一生懸命努力して参りますので、変わらぬご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健康とご多幸を祈念し、新年の挨拶と致します。

令和5年吉日



館長	山田 君夫
事務長	佐藤 友浩
地域活動推進員	柏倉 美穂
地域活動推進員	三瓶 良子

防犯協会中川支部研修会

11月25日(金)防犯協会中川支部研修会が開かれ、木村 雅美支部長の挨拶に続き、上山警察署 生活安全課の海藤課長より、上山市の犯罪状況など貴重なお話を伺い、特殊詐欺対策のDVDで研修しました。電話を使った詐欺対策には、固定電話は留守番電話にしておく、自分は大丈夫と過信せず、特にお金に関わることは必ず誰かに相談する、ご家族と前もって話をしておくことで防ぐこともできます。また、「やまがた110 ネットワーク」のメール登録で詐欺犯罪の情報などを知っておくことも重要になります。自分の身は自分で守る意識を心がけましょう。



生活安全課
海藤 課長



グラウンドゴルフ愛好会反省会

11月28日(月)会員26名の参加で、グラウンドゴルフ愛好会反省会が行われました。一人ずつの感想でも「楽しくプレーをする事が出来た。」「体力が続く限り頑張りたい。」という言葉が多く、楽しい時間となっていることが伝わってきました。今年度は発足10周年でもあり、これまでの思い出も沢山あったと思います。来年度も是非楽しみながら、ホールインワン賞を目指して練習していきましょう！



単発講座

「初心者パッチワーク体験教室」

12月9日(金)単発講座「初心者パッチワーク体験教室」が、板垣まさ子さん(高野)の指導のもと、8名の参加で開催されました。パッチワークの基礎となる、写真のようなコースターを作りました。(まだ途中です!)きれいに縫うのがなかなか難しく、時間内で終わらなかったのが、2回目へと続きます。



中川地区食生活改善推進協議会主催

「伝達講習会」開催

12月5日(月)「伝達講習会」が9名の参加で3年ぶりに開催されました。献立は、山形野菜を使った家庭料理「自然薯の包み揚げ」「とろろ八杯」「アロニアご飯」で、栄養満点、見た目も鮮やかな3品です。作ってみたい方は、公民館にレシピがありますのでお問い合わせ下さい。



藁打ち



12月11日(日)20名の参加で、しめ飾り作りを使う藁の、藁打ちが行われました。木づちで藁を叩き、縄にしやすいように柔らかくし、それを14本くらいずつ輪ゴムで止め、まとめたものでしめ縄を作ります!『重~い』『頑張れ~』の掛け声の中で皆さん一生懸命叩いてくれました!!



しめ飾り作り

12月18日(日)「しめ飾り作り」が子ども9名、一般17名の参加で開催されました。11日に打ってまとめた藁を使って、齋藤晃一さん(薄沢)、齋藤吉博さん(薄沢)の指導のもと、「飾り作り」「縄ない」「飾り付け」等を悪戦苦闘しながらも、皆さんみごとにしめ飾りを完成させていました。しめ飾りを玄関に飾るのは、「歳神様」と言われる、生きる力や幸せを授けてくださる神様をお迎えするのにふさわしい神聖な場所(家)であることを示すためです。一生懸命思いを込めて作ったしめ飾りは、きっと多くの幸を連れて来てくれる事でしょう。令和5年も健康で幸多き年でありますように・・・👏

マクラメ作品完成しました!

9月から4回にわたり講座を開催して取り組んでいた、マクラメ編みの大作「タペストリー」がついに完成しました!!時間をかけた分、とっても素敵な作品に仕上がりました。



女性学級きらり

12月23日(金)第9回女性学級きらりは、会員11名の参加で、お正月用の「フラワーアレンジメント」を開催いたしました。若松や南天がお正月らしさを引き立て、豪華な仕上がりになりました。素敵なお花で、令和5年も笑顔で迎えられますね!



体験スポーツ講座 「トランポピクス体験会」

12月13日(火)「トランポピクス体験会」が9名の参加で開催されました。かみのやまスポーツクラブより、東海林先生にお越し頂き、一人用のトランポリンを使って体を動かしました。大変なのかな?と最初は不安な方もいましたが、軽快な音楽に合わせて、楽しく、また無理なく体をほぐすことができました。



公民館大掃除



12月5日(月)は、中川地区食生活改善推進協議会の皆さんにより調理室を、6日(火)は各地区会長さんはじめ、ボランティアの皆さんのご協力により公民館の大掃除が行われました。あいにく朝から雪が降り、寒い中での作業となりましたが、内外からのガラス磨き、床の拭き掃除にワックス掛け、障子の張替えと職員だけでは手の届かないところまできれいにして下さり、おかげ様で、清々しく新年を迎えることが出来ました。令和4年もたくさんの方々を支えられた一年でした。皆様、本当にありがとうございました。

中川地区公民館トイレ バリアフリー化工事完了しました!

皆様には、長い期間ご不便をおかけしましたが、ようやく、バリアフリーの使いやすいトイレが完成いたしました。昭和49年3月に建てられてから、少しずつですが、より使いやすい公民館になってきております。



行事予定

- 1/4(水) 仕事始め
市民新年祝賀会
 - 1/5(木) 中川地区会長会
公民館運営協議会
 - 1/6(金) 市報・館報
中川地区新年祝賀会
 - 1/10(火) 第10回そば打ち教室
第2回福祉村だより編集委員会
 - 1/11(水) 第8回粋いき倶楽部だんご木飾り (職員不在時間帯あり)
 - 1/13(金) 第10回パソコンクラブ
 - 1/17(火) 第10回女性学級きらり
 - 1/24(火) 出前スポーツ教室「シャフルボード」
 - 1/27(金) 雪と遊ぶ会
- 詩吟教室 (火曜日) 1/10、17、24
 ピンポン愛好会 (木曜日) 1/5、12、19、26
 スポーツ麻雀愛好会 1/7、14 (土曜日)
 1/26 (木曜日)



行事予定

- 2/1(水) 市報・館報
 - 2/3(金) 予算審議会・三者会
中川地区会長会・公民館運営協議会
 - 2/4(土) 笑いと健康のつどい
 - 2/7(火) 第11回女性学級きらり
 - 2/10(金) 出前スポーツ教室「ストレッチヨガ」
単発講座「救命救急講座」
 - 2/14(火) 第11回そば打ち教室
 - 2/17(金) 第11回パソコンクラブ
子ども会育成会反省会
 - 2/24(金) 第9回粋いき倶楽部閉講式
 - 2/28(火) 出前スポーツ教室「足腰元気体操」
- 詩吟教室 (火曜日) 2/7、14、21
 ピンポン愛好会 (木曜日) 2/2、9、16
 スポーツ麻雀愛好会 2/11、25 (土曜日)
 2/16 (木曜日)



募集中!

詳しくは、小学校配布
チラシをご覧ください!

わんぱく広場

「雪と遊ぶ会」

スノーフラッグ、
宝探しゲームで遊ぼう!

- 日時 1月27日(金) 19時~21時頃
 場所 中川地区公民館前広場
 参加資格 中川小1年~6年生
 参加料 無料
 持ち物 雪遊びができる服装・飲み物・タオル
 内ズック (天候により内容変更の時使用)

単発講座

詳しくは、地区回覧チラシを
ご覧ください!

いざというときに役立つ!! 「救命救急講座」

- 日時 2月10日(金) 19時~20時半頃
 場所 中川地区公民館 集会室
 参加資格 中川地区民 20名程度
 参加料 無料
 持ち物 筆記用具・内ズック・動きやすい服装
 飲み物など

「昭和考、問わず語り（その23）」

〈改元時の政治状況〉

改元時の衆議院は、まだ制限選挙（選挙人は、国税を年十五円以上納税している者などの制限）で選出された議員が在職中であつた。衆議院の定数は四百六十四人、第一党は百六十五議席の憲政会、第二党は百六十一議席の立憲政友会、第三党は九十一議席の政友本党であつた。帝国議会創設期、自由民権運動を牽引した板垣退助の自由党と大隈重信の進歩党が合同し憲政会を結成したが、その後分裂を繰り返して、昭和改元時は、旧自由党の流れを汲む立憲政友会と旧進歩党（初期は立憲改進黨）の流れを汲む憲政会が議席の多くを占め、たゞたび政権与党となつて国策を担つていた。政友本党は、人事問題で政友会を飛び出した人たちが普通選挙反対を掲げて結成した政友本党であつた。

昭和改元時の内閣は、憲政会を与党とする若槻礼次郎内閣であつたが、憲政会は第二次護憲運動の際、政友会、革新倶楽部と共同して（護憲三派）普通選挙を主張、大正十三年五月の総選挙でこの三派連合が勝利した。首相には、第一党になつた憲政会の総裁・加藤高明が指名され、六月に加藤内閣が成立した。これは、政党内閣時代の幕開けであつた。加藤内閣は、大正十四年春、衆議院議員選挙法を改正し、男子普通選挙制度を制定するとともに、共産主義運動を取り締まる治安維持法を制定した。これを機に、大養毅率いる革新倶楽部は、政友会に合流し次期総選挙での単独政権獲得をめざし、総裁に元陸軍大臣・田中義一を迎い入れ、連立を解消して野党となつた。これに対し、憲政会だけでは衆議院の過半数に及ばない加藤高明内閣は、政友本党の支持を得ながら大正十五年初頭の議會をのりきろうとした。ところが、加藤首相が突然病死してしまつたため、元老・西園寺公望は、首相の病死という政治問題ではない原因による政権交代は好ましくないと判断し、加藤内閣の内相で、憲政会総裁を引き継いだ若槻礼次郎（写真①）を推挙し、内閣を引き継ぎ改元を迎えたのである。

〈昭和恐慌の発生〉

大正十五年一月成立した若槻内閣は、与党が過半数に満たないという弱体内閣であつた。政治を安定させるためには、衆議院の解散総選挙を行うべきであつたが、同年十二月二十五日、大正天皇が死去し、「大正天皇の死去直後に政治の争いは避けるべきである」との理屈を持ち出し、野党の立憲政友会と政友本党を説得し、総選挙をせずに大正十五年末から昭和二年三月にかけての定例議會をほぼのりきつた。

ところが会期末に「昭和恐慌」が発生したのである。当時、第一次世界大戦時の好景気の反動として起こつた戦後恐慌や関東大震災がきっかけで生じた大量の不良債権が、個人経営同然の中小銀行が多かつた金融界に重くのしかかつていた。政府も対策に乗り出しつつあつたが、昭和二年三月十四日の衆議院予算委員会において、片岡直温蔵相（写真②）が、まだ倒産してない銀行について倒産したと発言してしまつた。

この失言がきっかけで、全国的に信用不安が発生し、中小銀行の休業が始まつた。これが「昭和恐慌」の始まりである。この危機に対し、日銀が非常貸し出しに踏み切るなどして、恐慌第一波は一応静まつた。

〈緊急勅令案の否決、「金融パニック」の発生〉

しかし、息つくひまなく第二波が襲つてきた。神戸の鈴木商店は、第一次大戦中驚異的な発展を遂げ、三井、三菱と並び一大総合商社になつていたが、戦後も台湾銀行からの融資を頼りに膨張の手を緩めなかつた。ところが、その後の不景気で業績不振となり「昭和恐慌」のため資金繰りに行き詰まり、議會閉会直後の四月五日に倒産。台銀は、この融資を回収できず倒産の危機に陥つたのである。

岩槻内閣は、日本銀行からの緊急融資によつて台銀を救済しようとする法律を制定しようとしたが、議會閉会直後のためできず、緊急勅令という手段を使うことにした。

甲石地区 高橋 正之

緊急勅令を出す場合は、枢密院での審査が必要であつたが、その審査で緊急性がないという理由で緊急勅令案は否決されてしまつた。緊急勅令案の否決は、日本全国に「金融パニック」を引き起こした。庶民は、預金引き出しのため各銀行に殺到（写真③）、各銀行はこれに押しきれず休業し、そのまま倒産する銀行も多かつた。

枢密院は、制度上法令に関する天皇の諮問機関に過ぎず、天皇や内閣がその意見に従う義務はなく、内閣としては対抗手段をとる選択肢がないわけではなかつたが、若槻は内閣の退陣を決めたのである。（ちくま新書刊「昭和史」古川隆久著より。写真①は同書、写真②③は、講談社刊「昭和二万日の全記録」より）（次回は、内閣の迷走、張作霖事件の発生について記述する予定です。）

（写真②）



（写真①）



（写真③）

